

情報公開用文書

2022 年 6 月 16 日作成

研究課題名	炎症性筋疾患における疾患メカニズムと治療効果の探索 (無症候性皮膚筋炎における抗MDA5抗体の病原性の探索)
研究の対象	疾患のコントロールとして健常者血清を使用するため、ご提供頂いた血清を使用します。
バイオバンクから提供する検体	健常者血清 20人 採取日 2016年6月1日～6月30日 2017年6月1日～6月30日 2019年6月1日～7月31日 2020年6月1日～6月30日 2021年6月1日～7月31日
研究目的・方法	<p>【目的】 皮膚筋炎は免疫の異常により皮膚や筋肉に炎症を起こす自己免疫疾患の一つですが、抗MDA5抗体が陽性の場合、急速進行性の間質性肺炎を合併することがあり、予後不良となることがあります。抗MDA5抗体が皮膚筋炎の病態にどのように関与しているかは解明されていません。本研究では抗MDA5抗体の臨床的特徴と合わせ、病原性を探索し皮膚筋炎の病態を解明することを目的とします。</p> <p>【方法】 臨床情報を用いて、カルテより患者背景、血液検査、画像データを抽出します。また、同意を得られた患者さんの血清を用いて上記の通りエピソード解析を行います。比較対照としてバイオバンク室で得られた健常者血清、共同研究機関であるスウェーデンのカロリンスカ研究所の白人患者の検体を用います。</p>
研究期間	承認日～2023年12月31日
研究に用いる試料・情報の種類	血清と検体提供者情報(性別、年齢)
バイオバンクから提供する情報の種類	年齢、性別、採取日
<p>問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:</p> <p style="text-align: center;">横浜市立大学先端医科学研究センター内 バイオバンク室</p> <p style="text-align: center;">電話:045-787-2592 メール:sentanbb@yokohama-cu.ac.jp</p>	